



ときわ会の四季 夏号

(No.73)



特集

- 写真：ジュンサイの池 …………… P 1
- 『糖尿病と上手に付き合い、元気な毎日を。』糖尿病外来～前編
糖尿病外来看護師 越後谷 愛 …………… P 3
- 医療法人ときわ会 経営状況 …………… P 3
- 熱中症について
院長 永山 淳造 …………… P 4
- 夏祭り中止のお知らせ
医療法人ときわ会 理事長 永山 亮造 …………… P 2
- 「プライマリ・ケア」と「麻薬教育」
プライマリ・ケア認定薬剤師/麻薬教育認定薬剤師 出町 美樹 …………… P 2



医療法人ときわ会の理念 ときわ（永遠）の愛

「ときわの愛」とは職員一人一人がそして法人全体が、利用者の求める心の安らぎと身体の健やかさを心から手伝えることです。

理念実践のための3S（信頼・職員・施設）

1 信頼の確立

- 1.1 各職員が利用者第一主義を徹底します。
- 1.2 自治体・関係施設・組織との連携を推進します。
- 1.3 地域住民の保健から緩和医療までの包括ケア体制の向上を目指します。

2 職員の資質の向上

- 2.1 職員各人が心身の健康管理を徹底します。
- 2.2 情報開示（説明・同意・応需・安全・守秘・非差別など）を推進します。
- 2.3 医療関連職員として職務遂行能力の向上を目指します。

3 施設設備の高度充実化

- 3.1 職員各人が経営基盤の安定化を徹底します。
- 3.2 法人施設相互の連携を推進します。
- 3.3 施設特性を発揮する設備の向上を目指します。

患者様の「権利」と「ご協力」のお願い

ときわ会病院は安全な医療と快適な療養生活をお送り頂くために、患者様に以下の権利をお約束します。またご病気の一日も早い回復のために以下のご協力もよろしくお願い申し上げます。

権利

- 1 病気や健康に対して十分な情報・説明・教育を受ける。
- 2 十分に説明された検査や治療方法を、自分で選び決める。
- 3 自分が納得する計画的チーム医療・看護・介護を公平に受ける。
- 4 自己の尊厳とプライバシーが守られる。
- 5 上記の権利を得られない場合は、病院などに苦情を申し立てる。

ご協力（義務）のお願い

- 1 病気を治すのは患者様ご自身の責任であり、ご自身の心と体の力です。病院の仕事は患者様自身が病気を治すことへのお手伝いであることをご理解ください。
- 2 一日でも早い心身のご回復を目指し、患者様ご自身も病院職員と共にチーム医療・看護・介護に参加する義務があることをご理解ください。

夏祭り中止のお知らせ

私ども医療法人ときわ会では例年、ご利用の皆様ならびにそのご家族、近隣地域にお住まいの皆様を対象に毎年夏祭りを開催しておりましたが、今年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの影響により中止することとなりました。

楽しみにされていた方には誠に申し訳ありませんが、ご理解をお願いいたします。

また、感染対策により面会等でご不便、ご不自由をおかけいたしておりますことをお詫び申し上げますとともに、ご理解、ご協力いただいていることに感謝を申し上げます。

医療法人ときわ会 理事長 永山 亮造

「プライマリ・ケア」と「麻薬教育」

プライマリ・ケア認定薬剤師／麻薬教育認定薬剤師 出町 美樹

「プライマリ・ケア」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。

「プライマリ・ケア」とは「身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療」のことで、地域に住む皆様の健康福祉に関係するあらゆる問題を総合的に解決していくこととする、地域活動です。

プライマリ・ケアでは薬剤師だけではなく、医師、歯科医師、看護師、栄養士、介護職、福祉職など様々な職種が活動しており、地域の医療機関や福祉施設、更には全国のプライマリ・ケアの志を持つ仲間との連携を通じて、どうしたら地域の医療がより良くなるかを考えて行動しています。

プライマリ・ケア薬剤師は患者様に寄り添った健康サポートを目指し、「今服用している薬に関する困りごと」だけにとどまらず、サプリメント、食事、生活習慣や日常生活にまつわる、あらゆる場面において適切なサポートができるように日々努めています。

「麻薬教育」とは、「医療用麻薬の適正使用と不正薬物の乱用防止に関する知識の教育・普及活動を行うこと」を目的とした活動を指します。

医療用麻薬は、がん患者さんの痛みを解放する緩和ケアにおいて必要不可欠なお薬です。しかし医療用麻薬への誤解や偏見は未だ根強く残っており、医療用麻薬が必要な患者さんに行き届かないケースもないとは言えません。その一方で、医薬品として承認された医療用麻薬であっても、不適切に使用（乱用）することで依存や呼吸抑制等の重篤な有害作用が生じるため、北米でのオピオイド・クライシスに見られるような社会問題を引き起こしかねません。日本は薬物乱用防止教育が浸透しており、諸外国と比較すると不正薬物の乱用は抑えられています。予断を許さない状況にあります。

麻薬教育薬剤師は医療用麻薬が痛みを解放する優れた薬であることを広くご理解いただく一方で、不正薬物の乱用防止と適正使用が重要であることもあわせて正しく知ってもらうために、患者様、ご家族、地域の医療・介護スタッフ、青少年、学校関係者（教職員、保護者等）など、全ての皆様に向けた教育活動を行っています。

皆様にとってより良い医療と健康サポートが出来るよう、「プライマリ・ケア」と「麻薬教育」の薬剤師として、これからも精進して参ります。

『糖尿病と上手に付き合い、元気な毎日を。』 糖尿病外来～前編

糖尿病外来看護師 越後谷 愛

わが国の糖尿病患者は増加傾向にあり、糖尿病に伴う合併症予防が重要な課題となっています。糖尿病治療は、専門的知識をもった医療スタッフによる連携が重要であり、藤崎町において唯一糖尿病専門外来がある当院へは、藤崎町のみならず周辺地域からの紹介も多く、現在500人程の患者様が当院の糖尿病外来に通院しています。

当院の糖尿病外来では、医師の診察以外に医療スタッフによる様々な療養指導を行って、患者様の療養を支援しています。主な療養指導は、

- ① インスリン等の注射導入時及び変更時の指導
- ② 自己血糖測定導入時の指導
- ③ 透析予防指導（予約制：火曜日）
- ④ フットケア外来（予約制：月曜日の午前 2件まで）
- ⑤ 栄養指導

『指導』という言葉を知ると、『何か指摘されるのか…』、『制限をしないとイケなくなるのか…』、『色々言われてうるさいな…』とあまり乗り気になれない方もいらっしゃると思います。そう思われる気持ちも十分に理解できます。

療養指導は患者様自身で自己管理を行いながら、良好な血糖コントロールを維持し、合併症予防及び進展を抑制し、糖尿病ではない方と変わらぬ日常生活を過ごすことができるよう支援していくことを目的としています。

今回は様々な療養指導の中から、フットケア外来について紹介したいと思います。

フットケア外来は、月曜日の午前2名までの予約制で行っています。糖尿病性末梢神経障害の方が対象となります。

『なぜ足の手入れが必要なのか』と思う方もおられると思います。日常生活で足に気を使うことはほとんどありませんが、糖尿病がある場合は足の手入れが非常に重要になります。神経障害があると痛みを感じにくいため、ケガやヤケドに気付きにくく、つい放置しがちです。さらに、糖尿病患者は傷口が化膿しやすく、傷の治りも遅くなります。最悪の場合は足を失うこともあります。

フットケア外来では、足のトラブルを起こす可能性がないかを評価し、患者様自身で足の手入れができるよう、爪の切り方などケアの仕方を指導しています。

患者様自身でケアが困難である場合は、継続してフットケア外来にてケアを行っています。

『今まで足について気にかけてこなかった』と思う方は、ぜひこれから自分の足について関心を持ち、手入れをしてあげてください。

医療法人ときわ会 経営状況 令和4年3月31日現在

貸借対照表

(単位：千円)

損益計算書

(単位：千円)

項目	金額	項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)		医業収益	2,736,337
I 流動資産	877,903	I 流動負債	397,944	医業外収益	60,897
II 固定資産	964,142	II 固定負債	255,000	経常収益	2,797,234
III 繰延資産	370	負債の部 合計	652,944	人件費(除退職金)	1,428,742
		(資本の部)		法定福利費	193,710
		I 資本金	15,300	材料費	758,935
		II 利益余剰金	1,174,171	減価償却費	59,717
		資産の部 合計	1,189,471	その他の費用	319,103
資産の部 合計	1,842,415	資本・負債の部 合計	1,842,415	経常費用	2,760,207
				経常利益	37,027
				法人税及び住民税	9,599
				当期利益	27,428

当法人では安心して各施設をご利用いただけるよう、毎年、経営状況を公開しています。

熱中症について

院長 永山 淳造

例年より暑い夏が予想されている今年は、今までにまして熱中症対策が必要で、さらに今年は、電力不足が心配されていて、節電にも気を使わなければいけない夏になりそうです。

熱中症は高温多湿の環境に長時間いることで体の水分や塩分が不足し、体温調節がうまくできなくなって体に熱がこもってしまう状態のことです。

熱中症を防ぐには、涼しい環境にすることが一番ですが、電気代も値上がりし、電力不足と言われるとついつい我慢しがちです。

冷房以外で体温を下げる方法を少しご紹介します。水で濡らしたタオルで体を拭いたり、氷嚢で首周りを冷やす。窓を開け、扇風機を上手に使うって風通しをよくし、暑い時の外出を控えるなどいろいろ工夫してみてください。

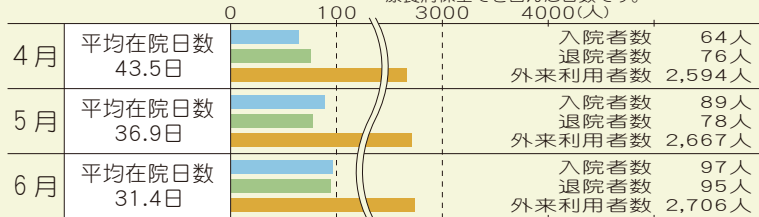
汗をかくと水分と一緒に塩分も失われてしまいます。そこで水分と一緒に塩分も補給する必要があります。スポーツドリンクなども手軽に水分とミネラルが補給できますが、糖分も摂取してしまいますので注意が必要です。逆に適さないのはジュースや栄養ドリンクなどの糖分の高すぎる飲み物や、お茶、コーヒーなどのカフェインを含む飲み物です。糖分の取り過ぎは高血糖を引き起こしたり、食欲を押さえたりすることもあります。カフェインは利尿作用と言って尿が増えるため逆に脱水になってしまうことがあります。食べ物ではスイカに塩一つまみを振りかけて食べたり、麦茶と梅干を一緒に取ったりなども有効だと思います。

熱中症の初期症状であるめまいや頭痛、立ち眩みなどの症状が出たら涼しい場所で休み、体温を下げる。塩分と水分を補給するなどしてみてください。筋肉のけいれんや意識障害などの症状は危険ですので、早めに病院を受診しましょう。

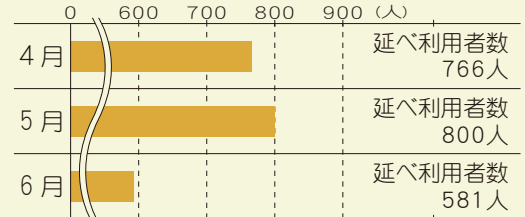
医療法人ときわ会病院 各施設の利用状況

ときわ会病院 利用者数

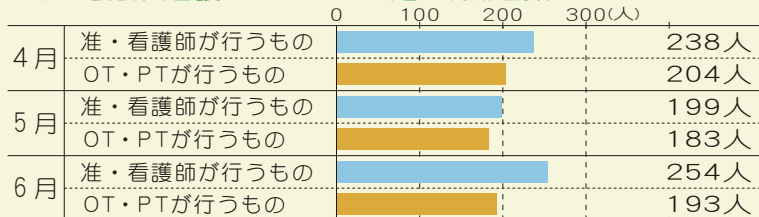
※平均在院日数は一般・回復期リハビリ病棟・療養病棟全てを含んだ日数です。



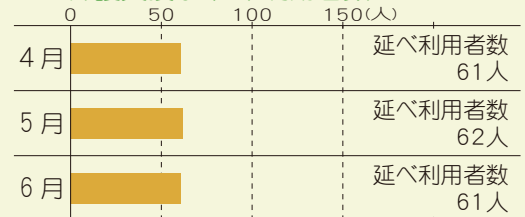
通所リハビリテーション 利用者数



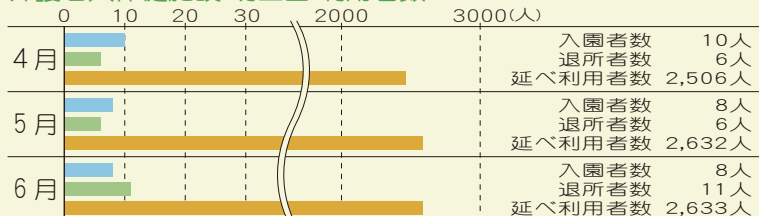
ときわ会訪問看護ステーション 延べ利用者数



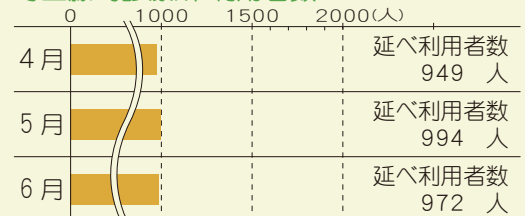
居宅介護支援事業所 利用者数



介護老人保健施設 明生園 利用者数



町立藤崎診療所 利用者数



編集後記



盛夏ですね。我が家では夏になると煎り酒が活躍します。煎り酒とは、梅干しと酒を煮詰めた日本古来の調味料で、江戸時代に醤油が普及してからマイナーになってしまったらしいのですが、酸味はまろやかで、現在売られているものは鰹だしもきいていて美味しく、白身のお刺身なんかにもびったりです。醤油の代わりに使えて、しかも塩分が醤油の13分の1の優れたもの、とくれば使ってみない手はないでしょう？

峯岸 晶子